

関 連 資 料

1 通級指導学級の教育目標

- ・聴覚に障害のある児童が、生活及び学習上の問題を主体的に改善するために必要な知識、技能、態度及びコミュニケーション能力を育てる。
- ・聴覚の障害が児童のもてる資質として受容され、二次的問題を起こさないように環境調整を含めた指導を行う。

2 教育目標を達成するための基本方針

- ・聴覚の特性や程度、言語力、情緒など、児童の全体的な発達を適切に理解して指導する。
- ・一人一人の児童の学習や生活における実態を把握して、個別指導計画を作成し、ケース会議によりその指導内容を適宜検討する。
- ・在籍校との情報交換を密に行い、連携を深め、指導内容の共通理解を図る。
- ・保護者と個別に面談を行い、家庭の協力を得て指導内容の共通理解を図る。
- ・医学、心理学、教育学の最新情報を得るとともに専門家の指導助言を求め、的確な教育的診断を行い、指導の効果を高める。
- ・個別指導を主とし、必要に応じて少人数指導も行う。

3 指導の重点

- ・聴覚を活用する学習を通して、聴く力と言語力を伸ばす。
- ・コミュニケーション能力を育てる。・言語発達の基礎となる情緒の安定に配慮した指導を行う。
- ・定期的に聴力検査を行い、聴力や補聴器の管理をしながら、残存聴力を十分に活用にできるようにする。

4 その他の配慮事項

- ・在籍校、関係機関との情報交換を行い、相互の指導内容の理解を深め合う。
- ・通級途上の安全と指導内容の共通理解を図るため、保護者による児童の付き添いを原則とする。

5 編 制

(1) 通級指導学級数 (1) (2) 担当教員数 (1)

(3) 児童・生徒数

学年 男女別		小 学 校						計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
小 計	男	0	0	1	0	0	0	1
	女	1	0	0	0	0	0	1
合 計		1	0	1	0	0	0	2

※週1日未満の児童数・生徒数は、()内に内数として記入する。